

## 令和7年度 内子高等学校 シラバス

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2単位	学年	3学年
教科書	新文学国語（三省堂）	副教材等			新国語総合ガイド（京都書房）		

## 1 学習の目標

- 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。
- 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	8 想像と創造 月火水木金土日 源氏物語—北山の垣間見	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解します。</li> <li>設定した題材に関連する複数の作品などをもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めます。</li> <li>文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めます。</li> <li>設定した題材に関連する複数の作品などをもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めます。</li> </ul>	中間考査 期末考査
	9 作品の変貌 鞆 竹取物語—かぐや姫の昇天	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解します。</li> <li>設定した題材に関連する複数の作品などをもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めます。</li> <li>文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めます。</li> <li>設定した題材に関連する複数の作品などをもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めます。</li> </ul>	
第2学期	10 文学の普遍性① 雨月物語—浅茅が宿 方丈記—養和の飢饉・大地震	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めます。</li> <li>人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めます。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めます。</li> <li>作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めます。</li> </ul>	期末考査
	11 文学の普遍性② 星の王子さま 藤野先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めます。</li> <li>人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めます。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めます。</li> <li>作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めます。</li> </ul>	
第3学期	12 文学の普遍性③ 山椒魚 珊瑚のリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めます。</li> <li>人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めます。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めます。</li> <li>作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めます。</li> </ul>	

## 3 評価の規準

## 【知識・技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

## 【思考・判断・表現】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

## 【主体的に学習に取り組む態度】

言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

## 4 評価方法

学期ごとに、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、定期考査、単元テスト、小テスト、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cで評価します。

## 5 学習のアドバイス

言葉に興味を持ち、分からぬ語句があれば辞書を引いて調べる習慣を身に付けましょう。また、積極的に文学作品を読むことを心掛け、作品が成立した背景を知ったり、関連した他の作品に触れたりしてみましょう。